

啓示と啓典 (テキスト) : ウスマーン版『クルアーン』の成立過程

1, ムハンマドに下された啓示の進行

- ・ 啓示の開始 : 610年頃に最初の啓示 …… ليلة القدر (「力の夜」「定めの日」)
 ラマダーン月27日と言われる
 【2 (牝牛) : 181 (185)】 【44 (煙) : 2 (3) -6 (7)】 【97 (定め) : 1-5】
 大天使ガブリエル (ジブリール) が「凝血章」【96 : 1-5】の啓示をもたらす
- ・ 啓示の中断と「朝」章【93】の啓示
- ・ 「沈黙の3年」と宣教の開始
 ムハンマドは最初の3年間、啓示を家族と一部の親友にしか伝えなかった【93 : 11】
 → 啓示による宣教の命令【15 (アル・ヒジュール) : 89, 94】 …… 宣教の開始
 啓示された節 (アーヤ) の朗誦、公然とした礼拝、多神信仰批判
 → 多神教徒からの迫害と警告的啓示
 【13 (雷鳴) : 29 (30)】 【17 (夜の旅) : 87 (85) -98 (96)】
 → 改宗者の増加と多神教徒の反感の増大
- ・ ムハンマドと初期の信徒による啓示の記憶・記録・朗誦
 記憶と口頭での朗誦の繰り返し → 啓示の拡散とさらなる記憶
 布、石、動物の骨、ナツメヤシの葉、パピルスなどへの書き付け
 最初のクルアーン朗誦者 : アブド・アッラー・ブン・マスウード (652年頃没)
- ・ 移住 (ヒジュラ) と逸話的啓示
 マッカからマディーナへの移住 …… イスラーム共同体 (ウンマ) の成立
 ユダヤ教徒、キリスト教徒との論争
 【2 (牝牛)】 【3 (イムラーン一家)】 【19 (マルヤム)】
- ・ 多神教徒とのジハード (聖戦) と勝利と指導的啓示
 統治機構・軍事的機動体としてのウンマの運営
 喜捨/税制、「民法」、「商法」、交戦・戦利品分配規定
 【4 (女) : 2-, 175 (176)】 …… 財産管理・姦通・婚姻・相続規定

【2（牝牛）：282-283】 【6（家畜）：153（152）】 …… 「商法」、公正規定

【8（戦利品）】 …… 聖戦の意義と交戦規定

【8：42（41）】 …… フムス（5分の1税）

【9（改悛）：58-60】 …… サダカ（喜捨）

・啓示の完了とムハンマドの死（632年）

【5（食卓）：5】 …… 啓示の完了宣言

【2（牝牛）：281】 …… 最後の啓示

2、啓示の保存と『クルアーン』結集

・啓示（神の言葉）とそれを記録したテキスト（ムスハフ **مصحف**）

啓示：神の導き、正邪の判別（フルカーン）、神との契約 …… 神の意志

啓示を記録したテキスト：木片、骨片、石、布片、椰子の葉、パピルスなどの

「モノ」に書かれた文字 …… 被造物

人間の記憶にとどめられた言葉 …… 被造物？

・初期のムスハフ：断片的な記憶・記録、口伝による伝達・継承

全ての啓示を正確に記憶していると見なされた者

=ハーフィズ：「（クルアーン）保持者」

ザイド・ブン・サービト（665年没）：預言者ムハンマドの書記

最初の統合テキスト作成者

→ カリフ・ウマル（在位634-644年）の娘のハフサ（661年没）が所持

・大征服による教友の拡散と複数系統の統合テキストの存在

ウバイイ・ブン・カアブ（650年頃没）版：ダマスカス

アブド・アッラー・ブン・マスウード版：クーファ

アブー・ムーサー・アル=アシュアリー（665年没）版：バスラ

ミクダード・ブン・アムル（653/4年没）版：ヒムス

いずれも現存せず

内容に決定的な違いはなかったとされるが、章の数、順序、名前に異同

一部の字句や母音の振り方に若干の異同

→ 啓示の音の伝達に複数の系統の発生＋地域間でクルアーンの読みをめぐる対立
＋ムハンマドの口から直接啓示を聞いた教友の戦死・老齢化
＝統一確定テキスト制定の必要

・ ウスマーン版（ムスハフ・ウスマーン）

カリフ・ウスマーン（在位644–656年）がザイドに統一テキストの編纂を指示
ザイドを中心としたハーフィズたちの合議によるテキスト確定
ハフサ所持のムスハフとの対照
完成したウスマーン版を各地のムスリムに送付
ウスマーン版以外のテキストの焼却を命令・・・現在まで伝わる唯一のムスハフ

・ 『クルアーン』異本

ウスマーン版以外の異本は完全な形では残っていない
ザイドらの編集作業への異議
アブド・アッラー・ブン・マスウードを中心としたクーファのムスリムたち
最終的にはウスマーン版を受容

参考文献

リチャード・ベル『コーラン入門』ちくま学芸文庫、医王秀行（訳）、筑摩書房、2003年
大川玲子『図説コーランの世界：写本の歴史と美のすべて』河出書房新社、2005年